

北本市環境基本計画年次報告書（平成25年度版）への記載内容の追加

年次報告書の35ページ 「●文化財の調査の推進」の実績報告の文章に続けて以下の文章を追加記載する。

埼玉県選定重要遺跡である石戸城については、これまでの発掘調査結果と今後の保存管理・整備活用における基本方針を取りまとめ、「石戸城跡保存管理計画及び石戸城跡整備基本計画」を策定した。

デーノタメ遺跡は、遺跡内の未調査区域を対象に、集落跡の規模と遺構・遺物の残存状況を確認するための試掘調査を実施した。その結果、縄文時代中期（約4800年前）および後期（約3,500年前）の遺構群が調査区全体に亘って良好に遺存している状況が確認された。

[遺跡等調査事業：生涯学習課]

年次報告書の33ページ 「●野生生物の生育・生息場所の確保／野生生物の保護体制の確立」のオオタカ関連の実績報告の次の項目として、以下の文章を追加記載する。

本市では現在、「人と自然が共存した活力あるふるさと きたもと」を目指し、自然と共存する持続可能な地域づくりのシンボルに「コウノトリ」を掲げ、北本市西部の荒川沿いに集積された豊かな自然環境資産を最大限に活用した取組として「北本市コウノトリの舞う魅力的な地域づくり事業」を進めている。

平成24年度には、北本市コウノトリの舞う魅力的な地域づくり基本構想（案）の策定に向けて協議会を開催したほか、コウノトリの取組の先進地である兵庫県豊岡市を視察した。

今後は、平成24年度から25年度にわたり策定に取り組んだ基本構想（案）を策定の後、基本計画の策定に取り組んでいく。

[北本市コウノトリの舞う魅力的な地域づくり事業：政策推進課]